

初乳給与のポイント

初乳は大事なバイオセキュリティ

～ 初乳が子牛に与えるものは「**免疫**」と「**栄養**」です ～

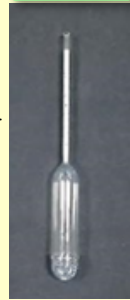
- 良質な初乳は免疫が高い初乳
- 1回目の初乳給与は生後6時間以内がベスト
- お腹いっぱい**1回**に3ℓ以上を1日2回飲ませる

良質な初乳かチェックしよう

- ① 比重計：1.05以上
(乳温20～25℃程度で測る場合の目安)
- ② 糖度計：Brix値 20～22%以上
(乳温20℃換算)

※ 乳温により計測値は変動します。
乳温が高い場合は低めに計測されます。
搾乳してすぐなど、20℃より高い温度で測定した場合、上記の基準に達していれば基準値を上回っていることとなります。

比重計



糖度計



初乳管理のポイント

～ 搾った初乳は**衛生的に**管理しましょう ～



初乳を搾る時

- 乳頭清拭は乳頭先端まで丁寧に！
- PLテスターと目視で初乳の品質を確認する
※ 異常乳（漏乳・血乳・乳房炎乳）は給与しない！！
- バケットミルクの洗浄は**パイプラインミルクの洗浄に準じて、酸性・アルカリ性洗剤**を使用し、**殺菌は専用殺菌剤**を使用する。
※ 消耗品の交換も忘れずに

パステライザーによる
初乳の加熱殺菌処理

(約60℃・30分間加熱)

BVD・サルモネラ菌・大腸菌などを
不活化するのに有効です！

袋を2重にすれば破れにくくなります

初乳を保存する時

- すぐに飲ませない場合は冷蔵庫で保存
- 冷凍保存する場合は、清潔なジッパー付袋に入れて速やかに冷凍庫で保存（保存日、牛名、品質、ワクチン接種の有無等を記載、保存期限は1年）
- 解凍する場合は45℃以下の湯煎で溶かす



ほ乳ボトルは
逆さにして保管

乳首もしっかり洗浄殺菌

ほ乳器具の衛生管理

- ほ乳ボトル・ニップルはアルカリ洗剤で洗浄して乾燥させる
- 使用前に殺菌剤ですすぐ



実践事例の紹介 (十勝管内Aほ育センター)

預ける側の管理が良くなることで、
預かる側での発育が改善された事例を紹介します。

預ける側の農場で初乳の給与量が少ないことから、預託農場では…

- ▲ 導入直後に下痢症が多発！ 労働負担が増加！
- ▲ 発育不良
- ▲ 治療費が増加



「下痢を減らすこと」を目標に改善対策を実施

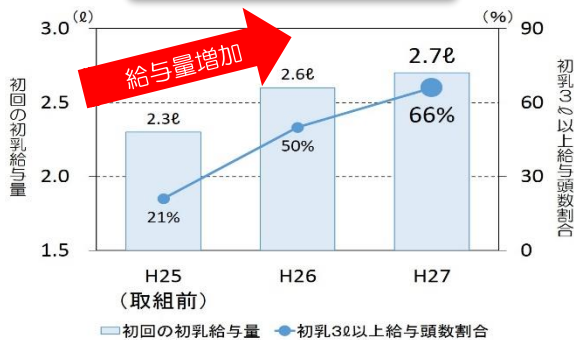
- 血液検査を実施して、免疫の量を計測 (※)
→ 初乳を3ℓ以上飲ませている農場では、血清タンパク値が高くて下痢も少ない
- 初回の初乳を3ℓ以上飲ませてもらうように働きかけた

※ 血清タンパク値とは…
免疫と関連する数値で、
血液で調べることが可能

みんなで取り組んだ

預ける側の農場ですぐに改善効果が見られた！

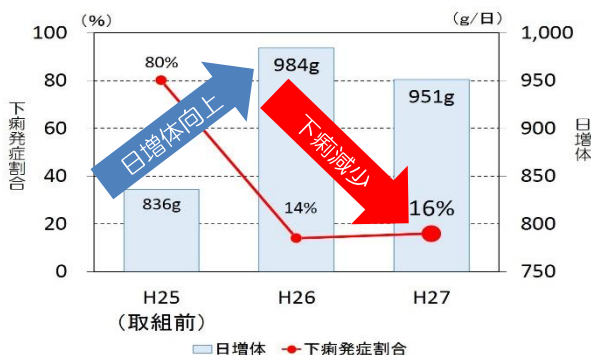
初回の初乳給与量の変化



- ◎ 初乳の給与量が増加
- ◎ 1回目の初乳を3ℓ以上給与する頭数割合が増加

血清タンパク値
向上！

導入から退牧までの日増体と下痢発症割合の変化



下痢の発症割合が激減！
日増体も向上！

預ける側と預かる側、お互いが協力することで、大きく改善されました！！